

## 事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

公表：令和6年 12月 1日

事業所名：すくすく教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	限られた部屋でパーティション等を利用し、工夫してスペースを確保している。	さらなるスペースがあると良い。(建物自体の確保)
	②	職員の配置数は適切であるか	4	1		さらなる保育士の配置が必要である。適切な人数はいるが、保育士などの専門職員が欲しい。
	③	生活空間は、本人に分かり易く構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事務所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもさん達の活動に合わせた空間となっているか	5		整理・整頓・清掃を心がけている。	建物が古い。トイレも綺麗とは言えない。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	5			
	⑥	保護者さん等向け評価表により、保護者さん等に対して事業所の評価を実施すると共に、保護者さん等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		アンケートを実施し、HPに掲載して、業務改善につなげている。また、保護者さんの意見をお聞きして、真摯に受け止めて、可能な限り改善に努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者さん向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4		近い将来、実施の方向で検討したい。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		常に研修や情報交換の機会を設けている。また、外部研修、ZOOM研修に積極的に参加している。	外部研修、ZOOM研修に参加している。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもさんと保護者さんのニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		懇談の時間をきちんと取り、聞き取っている。	
	⑪	子どもさんの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		シートを利用して状況把握に努めている。	

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		年2回、懇談時に保護者さんと一緒に見直しをし、設定、変更するようにしている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		担当者を決め行っている。	
	⑯	子供さんの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	出・退勤時間が違うために、開始前・終了後に全員ですることがむずかしい。必要なことは情報共有できるように工夫している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもさんの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		必ず担当者と児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5			
㉓		（医療的ケアが必要な子どもさんや重症心身障害のある子どもさん等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				現在、対象児はいない。
㉔		（医療的ケアが必要な子どもさんや重症心身障害のある子どもさん等を支援している場合）子どもさんの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				現在、対象児はいない。

関係機関や保護者との連携	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		TEL等で連携を密にしたり、顔を合わせる機会を利用したりして、情報共有に努めている。	
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		各、小学校へ出向き行っている。	
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		ZOOM研修を積極的に受けている。	
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもさんと活動する機会があるか	1	4		違う園のお子さんとの小集団療育を行っている。
	②9	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5			
	③0	日頃から子どもさんの状況を保護者さんと伝え合い、子どもさんの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		利用時に口頭でお聞きする。連絡帳を通して保護者さん、担任、事業所で連携している。	
	③1	保護者さんの対応力の向上を図る観点から、保護者さんに対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4	1	家族との情報交換を密に行っている。	
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		運営規程、契約書、重要事項説明書は契約時に十分時間をとって丁寧に説明している。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さんから児童発達支援計画の同意を得ているか	5			
	③4	定期的に、保護者さんからの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		要望時には必ず相談に応じている。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者さん同士の連携を支援しているか	4	1	卒業パーティー時に保護者会を行っている。年1回は必ず話し合う機会を作っている。	年1回の保護者会増やす方向で検討したい。
	③6	子どもさんや保護者参加者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもさんや保護者さんに周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもさんや保護者さんに対して発信しているか	5		毎月、「すくすくつうしん」を発行している。	

保護者への説明責任等	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	5			
	③⑨	障害のある子どもさんや保護者さんとの意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5		毎年7月に地域交流納涼大会を開催している。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者さんに周知すると共に、発生を想定した訓練を実施しているか	4	1	マニュアルを読み合わせしたり、回覧したりしている。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1	6月に土砂災害を想定した訓練を実施した。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもさんの状況を確認しているか	5		契約時に必ず確認している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもさんについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	5		おやつ提供時には、アレルギーについては十分配慮している。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		ヒヤリハットは必ず回覧して、誰でもが見られるようにファイル化している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		毎月開催している虐待防止委員会で協議して決定したことを確実に実施している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもさんや保護者さんに事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		定期的に行っている身体拘束適正化委員会で十分協議して、独自の説明書を作成している。	